

笑ってごらん

第 608 号 H. 29. 12. 15 発行

～今日のことば～

「昨日」という日はヒストリー、
「明日」という日はミステリー、
そして、「今日」という日はギフトなのだ。

◇◆来週末で2学期が終わる。都合により本紙の発行が週末になってしまったので、今学期はこれで勝手ながら最終号とする。皆にとってこの2学期は、そして、この1年は充実していただろうか？ 今年一年を象徴する漢字に『北』が選ばれた。この国際情勢ゆえさもありなんと思う。また、流行語大賞に『インスタ映え』・『忖度』が選ばれた。現実のものを光・角度などを工夫してより美しく写真に撮り、広く皆に伝える活動から生まれた『インスタ映え』に対し、まだ現実化していない事項について、相手の気持ちを勝手に推し量り、相手にとってより都合の良い形へと事を運ぼうとする『忖度』。なんだか対照的な言葉が選ばれている。今の世の中、いろんな意味で「加工」技術の発展めざましい昨今ではあるが、故意に事実を曲げてしまうような悪意の見え隠れする「加工」はやってはならないと思う。まあ、インスタグラムは「いい写真が撮れたね！」と言って欲しい、もう一方は「流石！わかってるじゃないか！」と言われたい、どちらも自分の評価を高めたいという自己顕示欲の顕れという点では一緒なのかも知れない。世間が何かと騒がしかった今年。「心穏やかならず」といった感が否めない。いろいろと周囲の情報に翻弄されがちだった今年。しかし、こういう時にこそ確固たる自分自身の意見を持つてるようではなければならないと思う。毎年のごとく陳腐な表現だが、お互い、いい年を迎えましょう！



Instagram

感謝道

◇◆数名の先生方の研究授業が行われた。本校では来年度 ICT 教育を本格導入する計画であり、本年度は普通科文理・特 I コースにおいて先行導入しているが、既に先生方の授業もタブレットなど機器を有効活用した組み立て方にシフトしてきている実態を感じた。ICT 教育導入の方向性を定めた当初は「本当に大丈夫なのか？」・「宝の持ち腐れにならないか？」との思いが強かったのだが、どうやらそれは思い過ぎしに終わったようである。これまでは資料集や印刷物を活用し、それでも十分な理解を導くにはほど遠かった。今や具体的な写真資料や、時には動画を示すことができるようになったので、生徒諸君の理解も数段早くなっている。大変有り難い。若い先生方を中心として、私の予想以上の進展を見せてくれている先生方の努力に感謝！ ◇◆14 日から中村太悟先生および2年生3名が台湾へ赴いている。これは南さつま市飛びたて高校生事業の一環で、台湾の高校生にサイクルシティ南さつまを PR する活動である。前日、この3名が校長室へ挨拶に来てくれた。その際、参考までに、4年前に私が訪れ感じた台湾の印象を伝えておいた。台湾は建国時から親日家が多い。よって、コンビニなどに行っても普通に日本語が通じるし、街を歩いていると、日本人だと見定めると、遠慮無く日本語で話しかけてくる。もし、通じなくても、英語で話しかければ大半の意思疎通は図れる。私自身、行ってみて好印象の土地であった。さて、彼らは今回、現地の高校生との交流活動を行い、その中で本市のことについてプレゼンテーションを行う。また、現地のサイクリングマップを使って、実際にサイクリングを行い、マップ作りの参考情報収集を行う。今後、あわよくば、交流した台湾の高校生が本校を訪れること、さらには鳳凰高校へ留学してくる生徒の誕生に繋がってくれたら、なおのこと嬉しい。そういう意味においては、言わば「南さつま市観光大使」としての活躍が期待される。是非いい経験を積んで来て欲しい。